

第489回 放送番組審議会

1. 日 時 2013年9月17日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 12名

出席委員 10名

副委員長	柴田 和子
委員	池田 克典
委員	吉江 信博
委員	鈴木 正之
委員	平 英一
委員	國分 正人
委員	村川 健一
委員	千葉 隆史
委員	嶋 誠治
委員	丸山 謙一

欠席委員 2名

委員長	坂本 修
委員	五日市知香

社側出席者	檜崎 憲二 (代表取締役社長)
	山口 英二 (常務取締役)
	青山 尚之 (取締役報道制作局長)
	桑島 広実 (報道制作局制作部副部長)

事務局	遠藤 隆 (編成技術局長)
	平井 直子 (編成技術局編成部副部長)

4. 議 題

1. 2013年8月18日(日) 13:30~14:25 放送
「早池峰神社例大祭 ～早池峰山の麓・岳集落で神楽人が舞う～」
2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側

- このシリーズははじめてみたがわかりやすくてよかった。高橋さんのナレーションも聞きやすかった。岳集落のようすもわかった。岳神楽と大償神楽の二つがある。しかし早池峰神楽がなぜイコール岳神楽なのかわかりにくかった。
- 良い番組だった。早池峰神楽の家族の紹介。地域の連帯感。観客は全国から来ていたと思うが地域の熱狂が伝わり、無形文化財、ユネスコの世界遺産に選ばれたのも納得できる。エジプトの祭りが日本の祭りのルーツという解説は違和感があった。
- 全編を通じて映像がすごかった。岳集落の一日が季節ごとに描かれていたしカモシカの映像も良かった。内容的には歴史、神楽の舞の説明もわかりやすかった。花巻市役所の職員の解説とナレーションが交互に出てきて十分に歴史が感じられて楽しめた。伝統芸能は後継者不足だが、後継者がいて未来を感じた。
- 後継者の息子さんがネクタイを外すシーンは作りすぎのように感じた。女性がこの神楽にどう関わっているのか知りたかった。
- 残念なのは音声のレベルがバラバラだったこと。後継者問題はストーリー性のある演出はうれしい反面、もう少しさりとしても良かったように思う。作り過ぎの面も感じた。
- ナレーションで「あめもよう」という表現があったが、雨が降っている場面では使わない。雨が降りそうな様子を「あめもよう」というのではないか。

局側

- 番組を取材スタートしたのは祭りの1年前。少子化で過疎が進んでいる中でなぜ多くの人に関わるのか。生まれたときから祭りに関わる運命。そこに焦点を絞って番組を作りたかった。岳神楽と大償神楽。早池峰神社の奉納は岳神楽が主役。大償神楽は大償神社の例大祭。大償神社のことも説明すべきだった。音声レベルのことは気が付かなかった。
- 視聴者は神楽のシーンが長くて飽きた人もいると思う。この祭りは限られた人が引き継ぐ。地域性やそこで暮らす人の様子やどうやって伝統を継承していくのか見たい人もいたのではないか。